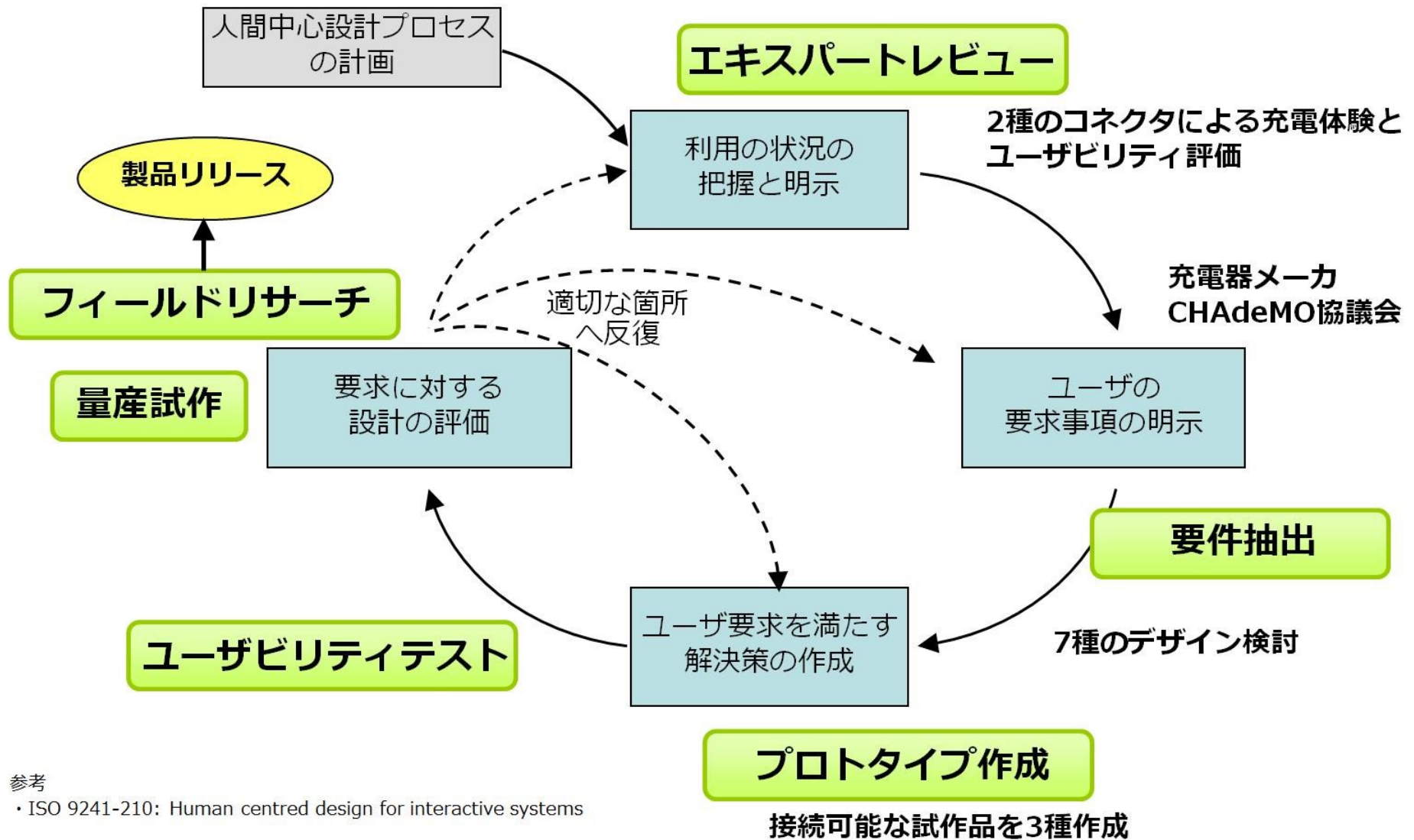


人間中心設計プロセス (ISO9241-210 : 2010)を実施



参考
・ ISO 9241-210: Human centred design for interactive systems

エキスパートレビュー、コネクタ調査



他社製 1



他社製 2



他社製 3

発泡材ラフモデル検討

EV急速充電器用コネクタデザイン開発 ドラフト設計検討

◆ガンの車体との干渉検証

iMiEVを採寸し、レセプタの高さ、角度を再現したモデルにG案のラフモデルを当てて検証した。
干渉しない形状であることを確認。



ユーザビリティテスト

3タイプのワーキングモデルと競合製品のユーザビリティ評価
 ここから得られた知見が、デザイン設計に大いに活かされている。
 設計ポイント、禁忌事項が明確になっており、ユーザセンタードかつ合理的な設計が可能となった。

操作中の様子 (Ss.04)

Ss.04 男性 70歳 170cm

実施順

ガン先を合わせる

ガンを挿し込む

ガンを抜く

コメント

②

F案



行動

位置合わせ時は左手でケーブルを支えるが、それ以外は右片手だけで持つ

×

「不安感があった。ロックがなかなかされなかった」

③

A案



行動

終始、右手でグリップ部、左手でケーブルを持つ

○

「ロックした感触はわかった。解除の感触もわかった」

×

「さらに押し入れるというのがピンとこなかった」

①

G案



行動

終始、右手で持ち手上部、左手でケーブルを持つ

×

「遊びがある感じ。頼りない」

④

製



行動

終始、右手で持ち手上部、左手でケーブルを持つ

○

「難しいかもしれないけれど、確実にロックできる」

×

「ここまでの操作が必要なのかという疑問もある」

最終デザイン

2011年10月リリース

ユーザビリティ フレンドリー
着脱が簡単 親しみやすいデザイン
セーフティ フレキシビリティ
多重の安全設計 柔軟なケーブル



競合製品のベンチマークを行いつつ、
独自性を発展させ、製品を差別化
充電器メーカー及びCHAdeMO協議会と
の綿密な意見交換
市場のニーズにマッチした製品となり、
引き合いも多い。